■実証実験の目的

▶名古屋交通計画2030(抜粋)

- ・地域主体のまちづくりの推進
- ・公共交通空白地への移動手段の導入
 - →地域の二ーズに応じた移動手段を導入し、継続的に運行していくために、実証実験を踏まえた行政支援のあり方を検討し、新たな**交通支援制度**を構築

▶西福田学区の選定理由

- ・交通支援制度検討のため、まずは**西福田学区をモデルケース**に 新たな移動手段の導入を検討・実施
- →西福田学区は公共交通空白地であり高齢化率が高い 地域が団体を立ち上げ、交通課題解決に向けた取り組みを 実施している

▶現在の取り組み状況

・地域の多様なニーズを把握・整理し、持続可能な運行にする 必要があるため、名古屋大学(未来社会創造機構)・名鉄㈱・ 名鉄タクシーHD㈱等との**共創**により、各分野の知見を活かし て行い、交通支援制度の検討に反映

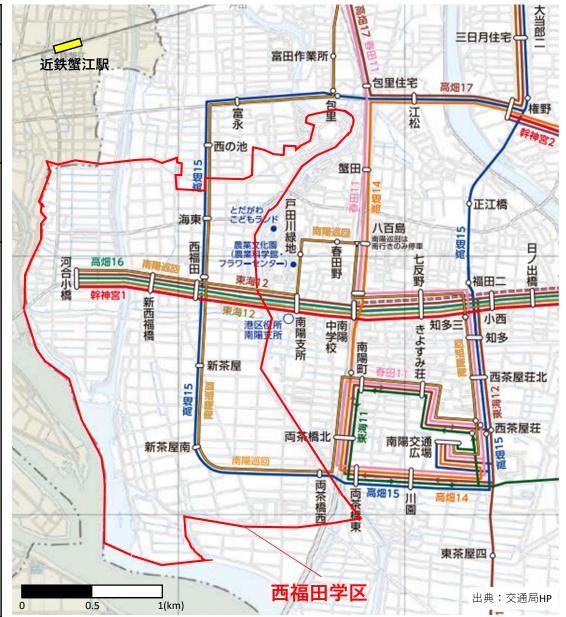




西福田学区の様子

■西福田学区の基礎データ

都市計画区域	市街化調整区域	_
面積	4.4 km²	R5
世帯数	1,496世帯	統計年
人口	4,235人	鑑
高齢化率	約42%	R2 国
こども率	約5.4%	· 勢 調 査
市バス路線	幹神宮1(熱田区役所方面) ▶上り25本、下り25本	
	高畑15 (八田方面) ▶上り21本、下り20本	
	高畑16(高畑方面) ▶上り28本、下り28本	
	東海12(六番町,港区役所方面) ▶上り40本、下り39本	_
	南陽巡回(南陽交通広場、戸田荘、河合小橋方面) ▶9本	
	※全て平日の運行本数	



■これまでの取り組み

R1.5	西福田さいこうプロジェクト推進協議会を設立 →まちづくりに関する課題等を議論・検討
R5.5	移動に関する第1回アンケート調査 (近隣移動の現状を調査)
R6.3	移動に関する第2回アンケート調査 (第1回アンケートの深堀)
R6.4 ~	アンケート調査を踏まえた運行計画の検討
R6.7	運行計画(案)を作成
R6.7 ∼	関係機関協議を開始

地域打合せは令和5年4月から令和6年7月中旬までに 28回、うち名古屋市は15回参加

■アンケート調査の概要

(1)第1回アンケート(R5.5)

日常生活における近隣移動の現状を調査

- ・学区に在住の中学生以上を対象
- ・各町内会長(11町内会)が調査票を配布・回収
- ・回収率は85.7%(2572票/3000枚配布)
- ・目的施設、頻度、時間帯、利用交通手段等を各人 それぞれ最大5パターン調査 (15問、うち3問は属性調査)

(2)第2回アンケート(R6.3)

第1回アンケートを深堀り

- ・各町内会の班代表・学区連絡協議会担当者を対象
- ・西福田さいこうプロジェクトが配布・回収
- ・回収率は90.1%(91票/101枚配布)
- ・西福田学区及び近隣学区での日常的な移動概要・ 新たな移動手段に求めるサービス水準を調査 (10問、うち1問は属性調査)



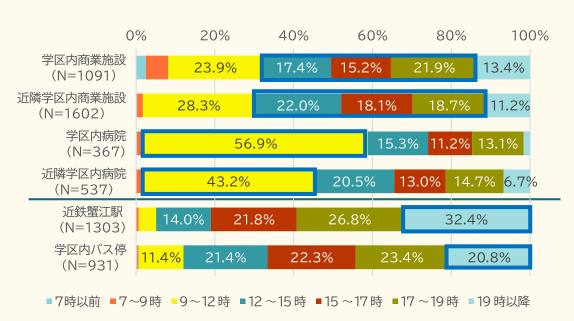
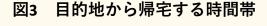
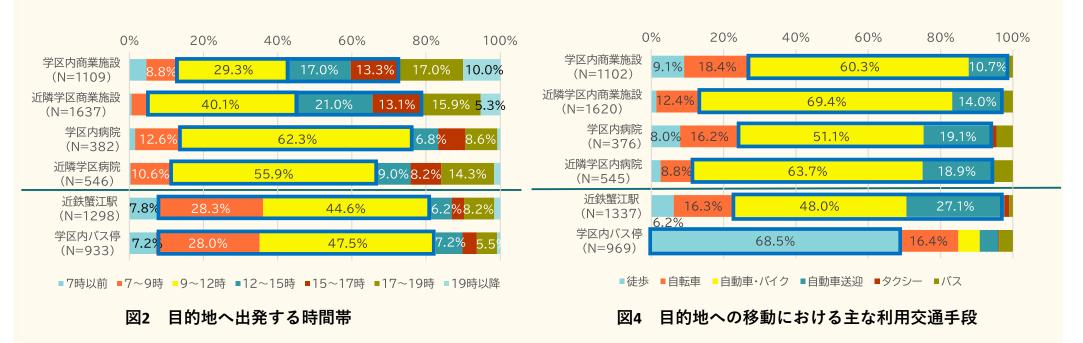


図1 日常の移動における目的施設の回答数(上位10位)







■新しい移動手段の決定

アンケート 調査結果

- ①**日中は生活施設** (商業施設、病院)、**朝・夕は交通施設** (近鉄蟹江駅、学区内バス停) の移動が多い
- ②目的地が学区内外問わず面的に点在
- ③移動手段について自動車送迎も一定比率を確認、移動に送迎が必要となる人の存在



コミュニティバス	・発着地が点在する西福田学区では適さない ・R6実証実験の結果次第では、コミュニティバスに変更する可能性がある (特定の方向、時間に需要の集中がある場合)	Δ
デマンド交通	・発着地が点在する西福田学区において、移動二ーズに即した柔軟な運行ができる ・R6実証実験の結果次第では、より半デマンド化する可能性がある (特定の方向、時間に需要の一定パターンがある場合)	0
空きタクシー活用	・まずは、地域内移動の利用量を把握する必要がある ・R6実証実験の結果次第では、タクシー営業所が近い西福田学区において採用す る可能性がある (利用が分散しており、かつ少数である場合)	Δ
タクシーチケット 交付	・地域内移動に利用されない可能性がある (長距離タクシー移動の足しにされる可能性がある)	×

■事業計画(案)

事業の名称	西福田学区デマンド交通実証実験
事業主体	西福田さいこうプロジェクト推進協議会(地域団体)、名古屋市、東海国立大学機構名古 屋大学、名古屋鉄道(株)、名鉄タクシーホールディングス(株)などからなる共創クループ
運行事業者	その1:名鉄交通第三株式会社(中川区東起町) 代表者 浅野丈夫 その2:名古屋近鉄タクシー株式会社(中区栄) 代表者 山根真哉
運行形態	乗合タクシー(区域運行型)
運行期間	令和6年11月中旬頃から3カ月間 平日、土、日、祝
運行時間	8時から18時まで
事業許可	道路運送法第21条
利用対象者	限定しない
運行車両	ワゴン型車両(定員9名)1両 ※応援車両のJPNタクシー4両及びクラウンセダン1両(いずれも定員4名)は既存乗用 事業と兼用
運行区域	西福田学区、近鉄蟹江駅、南陽交通広場、イオン南陽店、港区役所南陽支所、ファミリー マート名古屋港南陽店…〔次頁〕
停留所	44か所程度
運行回数	アプリまたは電話による予約に応じて運行
運賃	一乗車300円均一
支払方法	現金または交通系ICによる現地払い ※応援車両は現金のみ

■運行区域

西福田学区及び学区外目的地(5箇所)



・目的地例

近鉄蟹江駅(近鉄タクシー蟹江営業所内)



西福田学区コミュニティセンター



イオンモール名古屋茶屋(南陽交通広場内)



■デマンド交通の主な利用ルール

- ・市バス路線沿い(半径200mを目安)の平行移動はできない(発着地の両方を市バス沿線沿いに設定することはできない)
- ・学区外相互の移動はできない(発着地のいづれかは 学区内の設定を必須)
- ・利用は1乗車1目的地とする(車両の待機等は不可)
- ・敬老パス等の利用割引はなし(今後の検討)

■利用促進にかかる取り組み(予定)

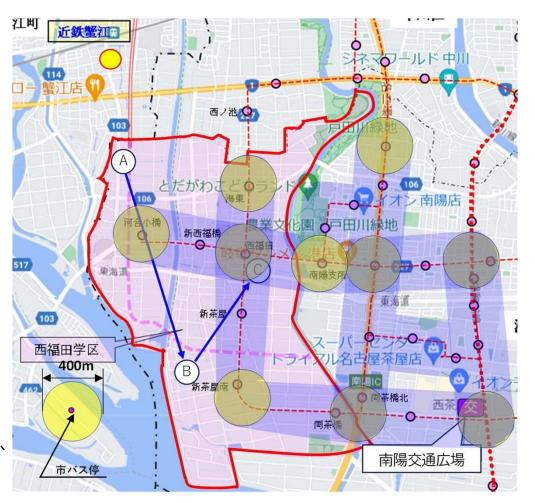
- ・チラシ、パンフレットを作成し配布
- ・事前に町内会毎に利用方法等の説明会を実施
- ・利用促進券を各世帯に配布
- ・はじめての実証実験であり、分かりやすさ向上のため、 乗降場所に簡易な標識(全て民地)を設置

→まずは乗ってもらう、知ってもらう!

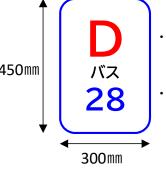
利用データや実証期間中に実施するアンケート調査から、

- ・過年度アンケート調査で把握した地域二ーズに対応して 450mm おり、デマンド交通が適しているか
- ・運賃(300円均一)が妥当であるか

を確認



乗降場所標識イメージ



- ・民地フェンス等に括り付け等を予定
 - →詳細は現地調査後決定
- ・標識の<u>維持管理等は西福田さいこうプロジェクト</u> 推進協議会が行う

■スケジュール

